

第2号様式（第3関係）

平成22年度第3回豊山町社会教育審議会会議録

- 1 開催日時 平成23年3月25日（金）午前10時から
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3
- 3 出席者 豊山町社会教育審議会委員
（役職及び氏名） 会長：西脇和子
委員：山本達三、丹羽孝之、井上郁子、坪井明政、一木直久
増田昌司、長谷川幹子、橋本節子、清水 隆、
坪井径子、櫛田眞壽美、伊藤 邁、高桑芳子
（欠席）七里光男
事務局：松田康朗教育長、早川晴男教育部長、佐藤正司係長
秋田和清係長、辛嶋洋充生涯学習指導員

- 4 議題 ・平成23年度社会教育事業計画（案）について
・豊山町子ども読書活動推進計画について
- 5 会議資料 ・平成23年度社会教育事業計画（案） ～資料NO.1～
・豊山町子ども読書活動推進計画 ～資料NO.2～

6 議事内容

（司 会） 本日は、お忙しい中、定刻までにご参集いただきありがとうございます。ただ今から、第3回豊山町社会教育審議会を開催します。

—配布資料の確認—

それでは、最初に会長よりあいさつをいただきます。

（会 長） 本日は、年度末のお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。東北関東大震災から2週間がたちましたが、被災範囲が広大で亡くなられた方は、一時毎日千人近く増えていました。私なら何ができるかと考えますが、なかなか行動に結び付かず、とりあえずは義援金に協力することかと思っています。また、原子力発電事故の終息に未だめどがたたず、完全に安全な状態までに何年もかかるといわれていますので、義援金の協力も何度も必要になることでしょう。本日の議題に読書推進計画がありますが、その場になくても想像する気持ち、体験していなくても思いやる気持ちなどと読書は関連があると思います。本日の社会教育審議会でご自分の思いをお話しくさるようお願いします。

- (司 会) 次に、教育長よりあいさつを申し上げます。
- (教育長) 本日は第3回の豊山町社会教育審議会にご出席いただきましてありがとうございます。委員の皆様はいつも素晴らしいアイデアをお出しいただき感謝しています。本年度は平成22年3月に策定された生涯学習基本計画を実施する1年目ということで、皆様のご協力で順調に進んできたのではと思っています。また念願でありました読書活動推進計画も様々な調査と関係機関との調整で策定することができました。今後も幅広い年齢の皆様にご読書が広がることを願っています。本日は、次年度の社会教育事業計画と豊山町子ども読書活動推進計画について西脇会長様を中心に話し合ってくださいますので、よろしくお願ひします。
- (司 会) それでは、これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは会長をお願いします。
- (会 長) 議案(1)の「平成23年度社会教育事業計画(案)について」事務局より説明をお願いします。
～平成23年度社会教育事業計画(案)について～
資料NO.1により説明。
- (会 長) 事務局の説明が終わりました。今の説明について何かご質問、ご意見はありますか。
- (会 長) 緑の休暇村事業の補助は1回になったということですが、すべてで1回ですか。
- (事務局) 6グループに分かれていて各グループ1回ずつ利用できます。
- (委 員) 緑の休暇村事業が町民に定着したから予算が減額されたと説明されましたが、FDAの運賃代の補助事業と関連があるのではないのでしょうか。
- (事務局) FDAの運賃代の補助事業は総務部が担当ですので関連はありません。緑の休暇村事業が一定の目的を達成したことが減額の理由です。
- (委 員) 緑の休暇村の利用状況をお聞かせください。
- (事務局) ～20年度、21年度、22年度の2月までの利用件数、21年度の各施設の利用人数(南知多に偏っている状況)を説明～
- (委 員) 長野県は遠いから利用が少ないのではないのでしょうか。補助金の変更は広報で知らせるのですか
- (事務局) 広報は紙面の関係で細かいものは載せません。詳細はホームページでお知らせします。
- (委 員) 申し込む人と利用する人が違うことがあると聞きました。何回も利用する人がいるのではないのでしょうか。
- (事務局) 来年度はそのことを防止するために、補助券に住所と氏名を記入して抑止力を高め、自覚を促します。モラルの問題と考えます。
- (委 員) 宿泊の補助を日帰りに利用している人がいると聞きましたが、どうでしょうか。

- (事務局) その情報は入っていませんが、今後関係施設にきちんと処理するように要請します。
- (会 長) このような補助事業を知らない町民がまだまだ多いと思いますので、多くの人に利用してもらうよう広報してください。図書室のことですが、音楽はインターネット等で取り入れることが多いと聞きますが、CDを借りる人はいるのですか。
- (事務局) 図書室を利用するのは若い人ばかりではありませんので、まだまだ利用はあります。
- (会 長) それでは「平成23年度社会教育事業計画(案)について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。
- (拍手)
- (会 長) 議案(1)の「平成23年度社会教育事業計画(案)について」は全員の拍手で承認されました。
- (会 長) 続きまして、議案(2)の「豊山町子ども読書活動推進計画について」事務局より説明をお願いします。
- ～豊山町子ども読書活動推進計画について～
資料NO. 2により説明。
- (会 長) 事務局の説明が終わりました。今の説明について何かご質問、ご意見はありますか。
- (委 員) 中学生だと部活動や勉強の課題をこなすだけで精一杯の毎日なので、時間がないことが、読書離れの原因としてあげられるのではないのでしょうか。
- (委 員) 昨年まで中学校で勤務していましたのでお話しします。中学生になるといろいろな興味、欲求が増えてきます。また、塾や習い事もあり、ゆっくり読書する時間が少ないのが中学生の実情です。しかし、読書の必要性は十分認識し、文字に親しむ習慣を身につけさせるために朝の始業前に朝読書をしています。中学校ではいろいろな活動がありますので、バランスをとりながら読書にも取り組ませ、自分の時間が持てたときに本が読めるように読書習慣を育てています。
- (会 長) 本を一度好きになれば、時間がなくて読めない期間があっても、またいつか読むようになると思います。そのためには小学校の低学年に集中して読書の楽しさを味わわせることも一方法だと思います。就学前の子どもには本を嫌いにさせないことが大切ではないのでしょうか。親に読み聞かせてもらうことから自分で読むようになる転換には家庭環境が関わると思います。計画にもありますが、居心地のよい学校図書館が望まれます。寝転がって読む場所もあればなと思います。
- (委 員) 親子読書会は忙しいので参加しないとのことですが、忙しくても参加したいというものを、関係者の一人として考えていきたいと思います。今までどんな内容がいいのか追及してきましたが、やはり昔話を読み聞かせていくことは子どもたちに必要だと思います。4月23日の「子ど

も読書の日」には人形劇による親子読書会を予定し、参加を呼び掛けています。

(会 長) 豊山町は、読み聞かせボランティアが活躍されていて小さい子への読み聞かせは浸透していると思います。

(委 員) 学校でもボランティアさんに来ていただく時は、子どもたちは身を乗り出して聞き入っています。中学生になるといろいろなことに興味を持つようになり、読書の好きな子は寸暇を惜しんで読みますが、何もしなければ多くの生徒の読む量も減ってきます。ですから朝読書などいろいろな読む機会を与えることが必要です。小学校では廊下や各教室に本を置いて、いつでも読めるようにしています。そこで「いい本を読みなさい」と言うだけでは効果がなく、教師自身が目を通したものを勧めなくてはいけないと思います。また、家庭での読み聞かせの必要性は痛感しています。

(委 員) 学校での朝読書を毎日ではできませんが、効果は確実にあるので実情に合わせて進めていくべきだと思います。小学校ではお化けのお話が人気があります。中学校は生徒によっていろいろな物語や小説を好みますが、朝読書の10分間でも積み重なると大きいと思います。

(委 員) 図書室もできるだけたくさんの本が開架されると本を探す喜びが感じられると思います。

(委 員) 資料にある町図書室利用人数ですが、その年齢層が町内にどれだけいるかの基礎データも必要かと思います。子どもに限らずどの年齢層でも活字離れは進んでいると思います。子どもたちは社会の縮図ですので文字にふれる機会が必要です。大学生でも文字に対する知識の個人差は激しく驚くこともあります。字が覚えられないという学習障害の子どもが増えているのではないのでしょうか。

(委 員) 私が子どものときは、辞書で調べることをよくしたものです。そのため今でも辞書を使う習慣があります。わからないことが分かるようになることも読書の喜びの一つだと思います。今の子どもは、「桃太郎」の話の聞いても「桃から産まれるなんておかしい」と言います。しかし、お話とか空想を拒否するわけではありません。そのことから、日本の昔話を伝えていくことは大切だと思います。

(委 員) 辞書で調べる意義はとともあると思います。ただ、漢和辞典がないという家庭もあるようです。スポーツへの親近感も親の影響は大きいものです。親が本を読まないでインターネットにはまり込んでいけば、活字離れは進みます。その意味から中高年の本への回帰が必要であり、読書活動は我々大人の問題とも言えます。

(会 長) 私見ですが、計画の中で、子どもの読書活動の意義を創造力とありますが、想像力も加えていただきたいと思います。また、親子の読み聞かせなどを終えてからの親子の会話がその後の読書活動に関わると思い

ます。これからの取り組みは大変ですが、少しずつでも進むことを期待します。

それでは、「豊山町子ども読書活動推進計画について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。

(拍手)

(会 長) 議案の「豊山町子ども読書活動推進計画(案)について」は全員の拍手で承認されました。

次の「その他」ですが、事務局から何かあればお願いします。

(事務局) 特にありません。

(会 長) 今日は貴重なご意見ありがとうございました。皆様のご協力により、本日の議題は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。

(司 会) それではこれで、平成22年度第3回豊山町社会教育審議会を終わらせていただきます。本日は、お疲れ様でした。気をつけてお帰り下さい。

上記のとおり平成22年度第3回豊山町社会教育審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成23年3月29日

会 長 西 脇 和 子

署名人 伊 藤 邁